

第5章 健康的な生活習慣実現のための取組

1. 第3期計画の健康目標

本市の現状及び第2期計画の健康目標の評価結果により見えてきた課題から、下記のとおり第3期計画の健康目標と目標値を定めます。

1) 第3期計画の健康目標

- 【がん】・・・がんによる死亡を減らす
- 【脳卒中】・・・脳血管疾患による死亡を減らす
- 【心疾患】・・・虚血性心疾患による死亡を減らす
- 【自死】・・・自死を減らす
- 【糖尿病】・・・糖尿病の人を増やさない
- 【歯・口腔】・・・自分の歯を残すようにする

2) 健康目標値

《目標値設定の考え方》

- 目標を達成したものは、第2期計画と同じく、県（圏域）平均値を目標値としました。
- 県平均値や圏域平均値より改善したものは、今回の数値を目標値としました。
- 目標を達成していないものは、第2期計画の数値を目標値としました。

(1) 【がん】・・・がんによる死亡を減らす（年齢調整死亡率 人口10万対）

【壮年期（40歳～64歳）】

健康目標項目		第2期目標	平成24年 [実績]	第3期目標	県平均値	圏域平均値
全がん	男性	173.3 以下	154.4	141.8	141.8	129.3
	女性	103.3	81.6	81.6 以下	95.0	91.6
胃がん	男性	28.4	23.0	18.3	18.3	19.8
	女性	9.1	16.5	9.1	11.0	19.0
肺がん	男性	23.8	26.4	23.8	28.2	24.4
	女性	10.7	5.0	5.0 以下	8.2	5.6
大腸がん	男性	20.3	12.3	12.3 以下	18.9	9.4
	女性	13.0	15.0	13.0	12.2	15.2
子宮がん		0を維持する	9.3	7.4	8.4	7.4
乳がん		12.1	5.0	5.0 以下	19.2	11.9

※年齢調整死亡率数値は、記載年を中心とした5年間平均数値

【全年齢】

健康目標項目		第2期目標	平成24年 [実績]	第3期目標	県平均値	圏域平均値
全がん	男性	208.4	193.0	177.8	177.8	176.5
	女性	77.4	83.9	77.4	85.2	89.5
胃がん	男性	31.5	29.1	26.6	26.6	25.7
	女性	12.4	11.1	10.7	10.7	11.0
肺がん	男性	24.0	36.5	24.0	38.0	36.7
	女性	10.7	7.2	6.8	8.7	6.8
大腸がん	男性	20.9	20.1	16.8	21.1	16.8
	女性	13.1	13.7	13.1	11.6	12.2
子宮がん		0.2	5.6	0.2	4.6	4.1
乳がん		8.3	4.9	4.9以下	9.1	9.0

※年齢調整死亡率数値は、記載年を中心とした5年間平均数値

(2) 【脳卒中】・・・脳血管疾患による死亡を減らす（年齢調整死亡率 人口10万対）

健康目標項目		第2期目標	平成24年 [実績]	第3期目標	県平均値	圏域平均値
壮年期	男性	33.2	24.6	22.1	33.8	22.1
	女性	10.7	21.9	10.7	13.9	14.7
全年齢	男性	45.3	43.0	39.5	44.5	39.5
	女性	27.2	25.3	23.5	23.5	24.0

※年齢調整死亡率数値は、記載年を中心とした5年間平均数値

(3) 【心疾患】・・・虚血性心疾患による死亡を減らす（年齢調整死亡率 人口10万対）

健康目標項目		第2期目標	平成24年 [実績]	第3期目標	県平均値	圏域平均値
壮年期	男性	16.1	4.1	4.1以下	13.7	8.2
	女性	3.7	3.4	3.0	3.0	2.2
全年齢	男性	23.2	7.8	7.8以下	16.9	12.8
	女性	9.5	7.2	7.2以下	7.5	9.5

※年齢調整死亡率数値は、記載年を中心とした5年間平均数値

(4) 【自死】・・・自死を減らす（年齢調整死亡率 人口10万対）

健康目標項目		第2期目標	平成24年 [実績]	第3期目標	県平均値	圏域平均値
壮年期	男性	67.6	80.2	67.6	47.2	63.7
	女性	9.1	25.3	9.1	12.8	26.2
全年齢	男性	37.3以下	45.9	37.3	32.3	41.8
	女性	7.7	10.1	7.7	9.3	11.4

※年齢調整死亡率数値は、記載年を中心とした5年間平均数値

(5) 【糖尿病】・・・糖尿病の人を増やさない（糖尿病有病者率）

健康目標項目		第2期目標	平成26年度[実績]	第3期目標
糖尿病 有病者率	男性	19.1%以下	22.1%	19.1%
	女性	13.6%以下	12.7%	12.7%以下

※糖尿病有病者率：特定健康診査受診者のうち、服薬ありの人と、服薬なしで空腹時血糖126以上または、HbA1c 6.5以上の人

(6) 【歯と口腔】・・・自分の歯を残すようにする

【成人：残存歯数】（大田市健康調査より）

健康目標項目	第2期計画	平成28年度[実績]	第3期目標
40歳代	27本以上	男性 24.4本 女性 26.9本	27本
50歳代	25本以上	男性 24.4本 女性 26.0本	26本
60歳代	22本以上	男性 18.0本 女性 21.4本	22本

【乳幼児・学童：一人平均むし歯数】（大田市乳幼児健診及び学校歯科健診結果より）

健康目標項目	第2期目標	平成27年度[実績]	第3期目標
1歳6ヶ月児	0本	0.02本	0本
3歳児	1本以下	0.39本	0.39本以下
12歳児	1.14本以下	0.63本	0.63本以下

2. 目標達成のための重点施策（6本の柱）

基本目標、健康目標達成のための重点施策（6本の柱）の方向、行動目標及びそれぞれの取組等については、下記に基づいて設定します。

1) 方向、行動目標及びそれぞれの取組

○方向と行動目標は、現状と課題及び健康調査結果から設定しました。

○市民、地域・団体、行政の取組については、

- ・市民の取組は、現状と課題及び健康調査結果から設定しました。
- ・地域・団体の取組は、市民の取組と、健康増進計画策定委員会作業部会での各団体の意見をもとに設定しました。
- ・行政の取組（環境づくり目標）は、市民の取組、地域・団体の取組をもとに設定しました。

2) 行動目標の目標値

《目標値設定の考え方》

○他の計画等で数値目標があるものは、その数値を目標値としました。

○第2期計画で未達成であり、目標値が設定されているものは、前回の目標値としました。

○第2期計画評価が「×」判定だったものは、前回目標値並みとしました。

○その他については、原則「健康日本21」の『指標の達成状況に関する方法の基本的な考え方』を参考に5%程度増減した数値を目標値としました。

3) 環境づくり目標の目標値

《目標値設定の考え方》

○他の計画等で同様の目標値があるものは、その数値を目標値としました。

○店舗や施設などを対象とし、店舗数等を目標としているものは「増加」としました。

○市が実施する健康教室などについて、実施回数は「増加」、参加者数は3%程度増（年1%）の数値を目標値としました。

○その他については「増加」としました。

1) 運動

施策の方向

- ◎毎日の生活の中で体を動かすことを心がけよう！
- ◎運動を続けよう、広めよう！

行動目標

- ◎毎日生活の中に運動を取り入れよう
- ◎歩くこと（ウォーキング）を心がけよう
- ◎楽しく運動を続けよう

●市民の取組

ライフステージ	取組項目
全年齢	地域のレクリエーションに参加しよう
幼児期	親子で遊びをとおして体を動かすことを楽しもう
	外遊びをしっかりとしよう
学童期	外遊びをしっかりとしよう
	スポーツを楽しもう
	親子でスポーツに取り組もう
青・壮年期	運動に取り組もう
	普段の生活で動く機会を増やそう
	通勤、買い物などで歩く習慣をつくろう
	興味のあるスポーツに取り組もう
高齢期	手軽にできる体操（ラジオ体操など）をしよう
	自分に合った運動（有酸素運動）を見つけよう
	普段の生活で動く機会を増やそう
	1日1回散歩をしよう
	近所の人を誘い合ってウォーキングを楽しもう

●地域・団体の取組

- ・運動（体操）教室、ウォーキング大会、体力測定会に参加することを呼びかける
- ・運動する機会をつくり参加する
- ・楽しく簡単に運動する方法を普及する

●行政の取組（環境づくり目標）

- ・運動を推進する関係機関の連携を図る
- ・子どもの時から運動についての学習の場を増やす
- ・家庭や職場で簡単にできる体操の普及、啓発に努める
- ・運動に関する情報の収集と提供に努める
- ・運動ができる環境の整備に努める
- ・ロコモティブシンドローム（運動器症候群）について啓発に努める



目標指標

目標項目「○」は継続 「●」は新規または他から移動したもの 「◆」は環境づくり目標

目標項目	対象・実施主体	基準値 平成28年度	目標値 平成31年度
○普段、意識して運動している人を増やす	20歳以上	男性 39.4% 女性 36.4%	40%
○歩くことを心がけている人を増やす	20歳以上	男性 27.9% 女性 21.9%	男性 30% 女性 25%
○運動が楽しいから続けている人を増やす	20歳以上	男性 14.4% 女性 12.6%	15%
◆公民館主催の運動事業の実施数を増やす	公民館	49回 787人 (平成27年度)	増加
◆運動指導（スポーツ教室等）への参加者数を増やす	大田総合体育館	26教室 1,087人 (平成27年度)	増加



特に、青・壮年期の人、
がんばって！

2) 栄養・食事

施策の方向

- ◎食育に取り組もう！
- ◎毎日朝食を食べよう！
- ◎バランスのよい食事を心がけよう！

行動目標

- ◎子どもの時からよくかんで食べよう
- ◎規則正しい食事をしよう
 - ・食生活の改善に取り組もう
 - ・毎日朝食を食べよう
 - ・野菜や海草を食べよう
 - ・地元産の食材を利用しよう
- ◎食育に関心を持とう



朝ごはんを
毎日
食べよう！

●市民の取組

ライフステージ	取組項目
全年齢	朝ごはんを毎日食べよう
幼児期	毎食野菜をとろう
	食の体験をとおして食に関心をもとう
学童期	食に関心をもとう
	バランスのよい食事について学ぼう
	家族みんなで食事をしよう
青・壮年期	バランスよく食べる力（実践する力）をつけよう
	旬の食材を知ろう、食べよう
	地元産の食材を知ろう、食べよう
	食事と病気の関係について知ろう
	よくかんで食べよう
	間食のとり方を考えよう
高齢期	減塩を心がけよう
	食事の量が少なくならないよう気をつけよう
	低栄養にならないよう毎食きちんと食べよう
	食文化や地域に伝わる伝統料理を次世代に伝えよう

●地域・団体の取組

- ・正しい食生活の知識を普及・啓発する
- ・食に関する学習会の開催（規則正しい食習慣、食の安全、郷土料理、地産地消など）
- ・「第2期食育推進計画」の普及・啓発
- ・食育ボランティアの活動への参加及び参加を促す

●行政の取組（環境づくり目標）

- ・食に関する学習会の場を増やす
- ・食に関する正しい知識と情報の提供をする
- ・地元産食材の利用を推進する（地産地消の推進）
- ・食育ボランティアの活動を支援する
- ・食育推進ネットワーク会議を支援し食育を推進する

目標指標

目標項目「○」は継続 「●」は新規または他から移動したもの 「◆」は環境づくり目標

目標項目	対象・実施主体	基準値 平成28年度	目標値 平成31年度
○朝食を毎日欠食する人を減らす	20歳以上	男性 12.0% 女性 4.1%	0にする
○野菜や海草をとる人を増やす	20歳以上	男性 69.7% 女性 83.3%	男性 75% 女性 85%
○減塩を意識している人を増やす	20歳以上	男性 43.8% 女性 58.0%	男性 45% 女性 60%
○1日2回以上ジュース類等をのむ人を減らす	20歳以上	男性 26.9% 女性 18.2%	男性 20% 女性 15%
○1日2回以上間食を取る人を減らす	20歳以上	男性 18.8% 女性 39.8%	男性 10% 女性 35%
●寝る前2時間以内に毎日何か食べる人を減らす	20歳以上	男性 15.9% 女性 10.4%	男性 10% 女性 5%
○食育に関心を持っている人を増やす	20歳以上	男性 24.0% 女性 46.1%	男性 30% 女性 55%
○食育ボランティアの活動回数を増やす		147回 (平成27年度)	増加
◆栄養指導の実施数を増やす	市（健康増進課）	63回 1,400人 (平成27年度)	増加 1,450人
◆健康づくり応援店数を増やす	大田圏域健康長寿 しまね推進会議	17店 (平成27年6月)	増加
◆学校給食での地元食材利用率	市（教育委員会）	64.9% (平成25年度)	70%

3) たばこ・アルコール

施策の方向

- ◎たばこが健康に及ぼす影響について知り、禁煙・分煙に取り組もう！
- ◎アルコールが健康に及ぼす影響や、生活習慣病のリスクを高める飲酒量を知り、守ろう！

行動目標

- ◎未成年者は喫煙・飲酒しない、大人はさせないようにしよう
- ◎たばこ・アルコールが健康に及ぼす影響について正しく知ろう
- ◎禁煙を目指そう
- ◎分煙に協力しよう
- ◎生活習慣病のリスクを高める飲酒量を知り、守ろう
- ◎休肝日をつくろう

●市民の取組

ライフステージ	取組項目
幼 児 期	授乳期・育児期の飲酒及び喫煙はやめよう
	子どものそばでたばこを吸わないようにしよう
	たばこは、子どもの手の届くところにおかないようにしよう
学 童 期	友達や周りの人にすすめられてもたばこをぜったい吸わない
	友達や周りの人にすすめられてもお酒をぜったい飲まない
	たばこやお酒が体に与える影響を知ろう
青・壮年期 高 齢 期	たばこやお酒が体に与える影響を知ろう
	たばこを吸う人は禁煙を目指そう（禁煙相談・禁煙外来を活用しよう）
	妊産婦、未成年者のいるところでは分煙を守ろう
	お酒の適量を知ろう
	休肝日をつくろう
	未成年者にお酒を飲ませないようにしよう
アルコール依存症について知ろう	

●地域・団体の取組

- ・禁煙・適正飲酒を呼びかける
- ・子どもから大人までたばこ・アルコールが健康に及ぼす影響について学習の機会を持つ
- ・人が多く集まる場所での分煙をすすめる
- ・禁煙治療医療機関の周知を図る

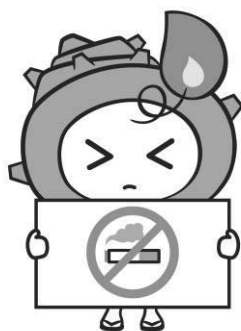
●行政の取組（環境づくり目標）

- ・たばこ・アルコールが健康に及ぼす影響について学習の場を増やす
- ・禁煙・分煙を推進する
- ・たばこ・アルコールの相談機関の周知をする
- ・慢性閉塞性肺疾患（COPD）の啓発に努める

目標指標

目標項目「○」は継続「●」は新規または他から移動したもの「◆」は環境づくり目標

目標項目	対象・実施主体	基準値 平成28年度	目標値 平成31年度
○未成年の喫煙者をなくす 【子ども・子育て支援ニーズ調査】	中学生	1.7% (平成25年度)	0にする
○喫煙している人を減らす	20歳以上	男性 26.4% 女性 6.7%	男性 20% 女性 5%
○未成年の飲酒経験者をなくす 【子ども・子育て支援ニーズ調査】	中学生	3.3% (平成25年度)	0にする
○生活習慣病のリスクを高める量を飲酒する人を減らす(男性毎日2合以上、女性毎日1合以上)	20歳以上	男性 26.4% 女性 7.8%	男性 20% 女性 5%
◆たばこの煙のない飲食店数を増やす	大田圏域健康長寿 しまね推進会議	8店 (平成28年10月)	増加
◆庁舎及びまちづくりセンターの 建物内禁煙施設数を増やす	市（健康増進課）	96.9% (平成27年度)	100%
◆施設内禁煙をしている医療機関数を増やす	医療機関	11か所 (平成27年度)	増加
◆禁煙支援医療機関を増やす	医療機関	5か所 (平成28年10月)	増加
◆禁煙支援薬局数を増やす	薬局	1か所 (平成28年10月)	増加
◆「受動喫煙の防止について」の 出前講座利用数を増やす	県央保健所	6回 149人 (平成27年度)	増加



4) 休養・心の健康

施策の方向

- ◎ストレスを我慢せず上手につきあおう！
- ◎心の健康について正しい知識を持とう！
- ◎声がけ・あいさつをしよう！

行動目標

- ◎睡眠と休養を十分とろう
- ◎ストレスの対処法を持とう
- ◎自分にあった趣味を持とう
- ◎地域で行われるイベント等に参加しよう
- ◎声がけ・あいさつをしよう
- ◎心の健康について正しい知識を持とう
- ◎一人で悩まず相談しよう

●市民の取組

ライフステージ	取組項目
全年齢	一人で悩まず誰かに相談しよう
幼児期	育児の不安は誰かに相談しよう
	育児サロンに参加しよう
	家族・親子の会話を大切にしよう
	〈家庭で〉育児の不安・悩みを話し合おう 〈地域で〉声をかけあおう
学童期	家族・親子の会話を大切にしよう
	しっかり睡眠をとろう
	声かけ・あいさつをしよう
青・壮年期	心の健康について正しい知識を持とう
	あいさつをしよう
	ストレスの対処法を持とう
	〈家庭・地域・職場で〉相談できる環境をつくろう 〈家庭・地域・職場で〉話を聞こう
高齢期	積極的に外出しよう
	地域の集まりに参加しよう
	〈家庭・地域で〉相談できる環境をつくろう
	〈家庭・地域で〉話を聞こう
	〈家庭・地域で〉声かけしよう

●地域・団体の取組

- ・地域で行われるイベント、趣味の会などの情報提供を行う
- ・心の健康について学習の機会を持つ
- ・誰もが相談しやすい環境をつくる
- ・ストレスチェックを行う
- ・交流・親睦を図る場をつくる
- ・声かけ・あいさつの啓発を行う

●行政の取組（環境づくり目標）

- ・心の健康についての学習の機会を増やす
- ・心の健康について正しい知識を普及・啓発をする
- ・心の相談機関の周知をする
- ・健診などの場でストレスチェックを実施する
- ・職場のメンタルヘルス対策を推進する
- ・ゲートキーパーを養成・啓発する

目標指標

目標項目「○」は継続 「●」は新規または他から移動したもの 「◆」は環境づくり目標

目標項目	対象・実施主体	基準値 平成28年度	目標値 平成31年度
○睡眠が十分に取れている人を増やす	20歳以上	男性 76.9% 女性 68.4%	男性 80% 女性 70%
○休養が十分に取れている人を増やす	20歳以上	男性 66.8% 女性 62.1%	男性 70% 女性 65%
○ストレスを感じている人を減らす	20歳以上	男性 15.9% 女性 20.4%	男性 14% 女性 19%
○ストレスの相談相手がいる人を増やす	20歳以上	男性 33.0% 女性 60.1%	男性 35% 女性 65%
○相談機関を知っている人を増やす	20歳以上	市役所 51.8% 県央保健所 41.3% 地域包括支援センター 44.0%	55% 45% 50%
○うつ病に対する正しい知識を持つ人を増やす	20歳以上	身体の不調を伴う 37.9% 休養と薬で治療 40.9%	40% 45%
◆心の健康相談の実施数を増やす	市（健康増進課） ・県央保健所	22回 （平成27年度）	増加
◆うつ病予防講座の実施数を増やす	市（健康増進課）	3回 38人 （平成27年度）	増加 40人
◆心の健康出前講座の実施数を増やす	県央保健所	9回 278人 （平成27年度）	増加

5) 歯と口腔の健康

施策の方向

- ◎子どもの頃から歯を大切にしよう！
- ◎いつまでも自分の歯で食べることができるように8020運動を推進しよう！

行動目標

- ◎子どもの時から、毎食後歯みがきをする習慣をつけよう（特に夕食後、寝る前の歯みがきを徹底する）
- ◎子どもの時からよくかんで食べる習慣をつけよう
- ◎むし歯予防のためフッ化物の利用をしよう
- ◎かかりつけ歯科医を持とう
- ◎定期的に歯科検診を受けよう

●市民の取組

ライフステージ	取組項目
全年齢	毎食後、歯をみがこう
幼児期	おやつのあたえ方を考えよう
	歯が生えたら歯みがきしよう
	むし歯予防のためフッ化物を上手に使おう
	かかりつけ歯科医をもち、定期的に歯科検診を受けよう
	子どものころからよくかんで食べる習慣をつけよう
学童期	1日1回、みがいた後はおうちの人にチェックしてもらおう
	自分の歯に関心をもとう
	おやつの食べ方を考えよう
	かかりつけの歯科医をもとう
青・壮年期	自分の口の中の状態を知ろう
	歯の健康について知る機会をつくらう
	歯周疾患検診は必ず受けよう
	定期的に歯科検診を受け、歯周病を予防しよう
高齢期	定期的に歯科検診を受け、歯周病を予防しよう
	よくかんで食べ、かめる歯を維持しよう
	かかりつけ歯科医をもち、自分の口の中の状態を知ろう
	歯周病からおこる病気について正しく知ろう

●地域・団体の取組

- ・毎食後歯をみがくよう呼びかける
- ・正しい歯みがき（点検みがき）の方法を伝える
- ・よくかんで食べるよう呼びかける
- ・定期的に歯科検診をするよう呼びかける

●行政の取組（環境づくり目標）

- ・むし歯と歯周病予防など歯の健康についての情報提供をする
- ・歯と口腔の健康に関する学習の機会を増やす
- ・よくかむことと、口をよく動かすことの大切さを周知する
- ・フッ化物の利用について周知する
- ・歯周疾患検診を実施し、歯周病予防を啓発する
- ・歯科医師会、歯科衛生士会と連携し、むし歯予防、歯周病予防を推進する



目標指標

目標項目「○」は継続 「●」は新規または他から移動したもの 「◆」は環境づくり目標

評価項目	対象・実施主体	基準		目標値
		平成28年度		平成31年度
○夕食後、寝る前に歯磨きしている人の割合を増やす	20歳以上	男性 67.4%	女性 89.2%	男性 70% 女性 95%
○よくかんで食べる子どもを増やす 【3歳児健診】	3歳児	16.5%		20%
○フッ化物を利用する人を増やす	20歳以上	男性 18.8%	女性 16.0%	20%
○定期的に歯科医を受診する人を増やす	20歳以上	男性 18.3%	女性 23.4%	男性 20% 女性 25%
○かかりつけ歯科医を持つ人を増やす	20歳以上	男性 46.2%	女性 46.1%	50%
○歯周疾患検診を受ける人の割合を増やす 【歯周疾患検診】	30歳以上	9.4%		10%
◆歯科保健指導の実施数を増やす	市（健康増進課）	7回 72人 （平成27年度）		増加 75人
◆歯と口腔の健康づくりに取り組んでいる市内の小中学校数を増やす	市（教育委員会）	90.9% （平成27年度）		増加

6) 健康管理

施策の方向

- ◎自分の健康状態を確認するために、定期的に健（検）診を受けよう！
- ◎健康づくりについて学ぶ機会を持とう！
- ◎かかりつけ医を持とう！
- ◎地域で健康づくりに取り組もう！

行動目標

- ◎年に一度は健康診査を受診し、精密検査・保健指導が必要な時は必ず、受診・参加しよう
- ◎がんの早期発見、早期治療のために、定期的ながん検診を受診しよう
- ◎健康づくりの教室等には積極的に参加しよう
- ◎かかりつけ医を持とう
- ◎地域で実施される健康づくり活動に参加しよう

●市民の取組

ライフステージ	取組項目
幼 児 期	規則正しい生活習慣を身につけよう
	乳幼児健診を受けよう
	予防接種を受けよう
	かかりつけ小児科医をもとう
学 童 期	規則正しい生活をしよう
	自分の健康に関心をもとう
青・壮年期 高 齢 期	健（検）診は必ず受診し、精密検査が必要な時は必ず受診しよう
	がん検診を受診しよう
	健診の結果、保健指導が必要な場合は必ず受けよう
	健診結果を健康づくりに生かそう
	かかりつけ医を持とう
健康づくりの教室には積極的に参加しよう	

●地域・団体の取組

- ・家庭・職場・地域内で健（検）診を受けるように声かけをする
- ・各団体の集会やイベント等に併せて健康づくりについて学ぶ機会を取り入れる
- ・地域での健康づくり活動を推進する

●行政の取組(環境づくり目標)

- ・地域、職域と連携し、健康づくりの取組や情報提供の場を増やす
- ・健(検)診が受けやすい体制づくりを進める
- ・健(検)診の意義、実施体制について情報提供を行う
- ・精密検査や保健指導の受診(利用)勧奨をする
- ・年代を考慮した健康づくりに関する情報を得やすい環境づくりを進める
- ・脳血管疾患や糖尿病などの生活習慣病の発症及び重症化予防について情報提供を行う
- ・家庭における血圧測定の普及・啓発を行う
- ・地域での健康づくり活動を支援する
- ・市民の健康づくりに関する意識を高める

目標指標

目標項目「○」は継続 「●」は新規または他から移動したもの 「◆」は環境づくり目標

目標項目	対象・実績	基準値 平成28年度	目標値 平成31年度
○定期的に健(検)診を受ける人を増やす			
・年1回健康診査を受ける人の割合	20歳以上	男性 85.6% 女性 85.1%	90%
・特定健康診査の受診率	40歳以上	47.0% (平成26年度)	60%
【国民健康保険】			
・胃がん検診受診者数(受診率)	40歳以上	男性 279人(5.1%) 女性 498人(5.8%)	300人(10%) 520人(10%)
・胃がん検診精密検査受診率	〃	89.9% (平成26年度)	100%
・肺がん検診受診者数(受診率)	〃	男性 2,622人(39.2%) 女性 4,201人(44.6%)	2,750人(45%) 4,400人(50%)
・肺がん検診精密検査受診率	〃	90.5% (平成26年度)	100%
・大腸がん検診受診者数(受診率)	〃	男性 774人(14.2%) 女性 1,313人(15.3%)	800人(20%) 1,350人(20%)
・大腸がん検診精密検査受診率	〃	82.1% (平成26年度)	100%
・子宮頸がん検診受診者数(受診率)	20歳以上	女性 667人(23.1%)	700人(30%)
・子宮頸がん検診精密検査受診率	〃	69.2% (平成26年度)	100%
・乳がん検診受診者数(受診率)	40歳以上	女性 583人(4.1%)	600人(10%)
・乳がん検診精密検査受診率	〃	100% (平成26年度)	100%
【地域保健・健康増進事業報告】			

○健康診査結果で生活習慣の改善に努めている人の割合を増やす	20歳以上	男性 48.9% 女性 32.0%	男性 50% 女性 40%
○健康に関する講演や教室などに参加する人を増やす	20歳以上	男性 26.4% 女性 21.6%	30%
○かかりつけ医を持つ人の割合を増やす	20歳代 30歳代 40歳代 20歳以上	57.5% 70.4% 60.0% 男性 73.1% 女性 61.7%	60% 75% 65% 男性 75% 女性 65%
●地域や自治会の集まりに参加する人を増やす			
●健康づくり推進協議会の設置地区を増やす		7地区	14地区
◆健康教育の実施数を増やす	市（健康増進課）	144回 4,714人 (平成27年度)	増加 4,900人
◆健康相談の実施数を増やす	市（健康増進課）	71回 993人 (平成27年度)	増加 1,030人
◆公民館主催の健康学習等への参加者数を増やす	公民館	69回 2,482人 (平成27年度)	増加
◆夕方から夜にかけての子宮がん集団検診実施数を増やす	市（健康増進課）	3日間 273人 (平成27年度)	増加 280人
◆職場検診における胃がん検診の受診事業所数を増やす	事業主	287事業所 (平成26年度)	増加

